

## 学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成25年5月8日(水) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

### 発 表 事 項

1. 大規模災害等発生時における東北地区国立大学法人間の連携・協力に関する協定の調印について
2. 共同研究により、磁石による放射性セシウム除染の可能性を確認
3. 2013年度山形大学都市・地域学研究所事業計画が決定
4. 平成25年度新入生保護者の皆さまと山形大学との交流会の開催
5. 大学コンソーシアムやまがた『やまがた夜話』の開催

### お 知 ら せ

1. 益川敏英氏(2008年ノーベル物理学賞受賞)を講師に迎え、理学部講演会を開催
2. 有機エレクトロニクスイノベーションセンター内覧会を開催
3. 非常時のための加温機能を備えた保存食「ほっこり食」の販売
4. 人文学部公開講座「19世紀 西洋思想の宝石箱」の開催

(参 考)

- 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成25年5月21日(火)11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成25年5月8日  
山形大学

## 大規模災害等発生時における東北地区国立大学法人間の 連携・協力に関する協定の調印について

東北地区の7国立大学法人（弘前大学、岩手大学、東北大学、宮城教育大学、秋田大学、山形大学及び福島大学）は、大規模災害等により、独自では十分な応急措置及び教育研究活動等の復旧・再開が困難な場合に、迅速かつ的確に被災大学に対する緊急支援等を実施するため、4月25日に連携・協力に関する協定を締結しました。

### ◆協定のポイント

#### （1）第1条

○大規模災害等が発生した場合には、7大学が相互に連携・協力し、被災大学に対し緊急支援・復旧支援を実施し、もって地域社会の復旧・復興に寄与することを目的とする。

#### （2）第2条

○大規模災害等とは、「地震・風水害等の大規模な自然災害」、「新型インフルエンザ等の感染症のまん延」等

#### （3）第3条

○連携・協力の内容は、「食料等の生活必需品の提供」、「教職員等の相互派遣」等

#### （4）第4条

○支援体制は、北東北と南東北の地区に分かれて、一次支援、二次支援等を実施する。



（お問合せ先）

山形大学総務部総務課  
電話：023-628-4006

大規模災害等発生時における  
東北地区国立大学法人間の連携・協力に関する協定書

東北地区の7国立大学法人（弘前大学、岩手大学、東北大学、宮城教育大学、秋田大学、山形大学及び福島大学）（以下「7大学」という。）は、大規模災害等により、独自では十分な応急措置及び教育研究活動等の復旧・再開が困難な場合に、迅速かつ的確に被災大学に対する緊急支援等を実施するため、次のとおり連携・協力に関する協定を締結するものとする。

（目的）

第1条 本協定は、東北地区で大規模災害等が発生し、又は発生する恐れがあると認められる場合には、7大学が相互に連携・協力することにより、被災大学に対する迅速かつ的確な緊急支援及び復旧支援を推進し、もって地域社会の復旧・復興に寄与することを目的とする。

（大規模災害等）

第2条 本協定において「大規模災害等」とは、次に掲げるものをいう。

- （1）地震、風水害等の大規模な自然災害
- （2）新型インフルエンザ等の重大な感染症のまん延
- （3）その他重大な事件・事故等

（連携・協力の内容）

第3条 第1条の目的を達成するため、次の連携・協力を行う。

- （1）食料、飲料水、医薬品その他生活必需物資の提供
- （2）教育研究活動等の復旧・再開のために必要な教職員等の相互派遣
- （3）防災・減災のための取り組みに関する情報交換
- （4）その他第1条の目的達成のために必要と認める事項

（支援体制）

第4条 次に定める地区で相互に連携・協力して行う。

地区	大学名
北東北地区	弘前大学、岩手大学、秋田大学
南東北地区	東北大学、宮城教育大学、山形大学、福島大学

（1）一次支援

災害等の発生直後に、被災した大学の属する地区の大学が、被災大学の要請に応じて、可能な支援を速やかに実施する。

（2）二次支援

他の地区に属する大学は、被災大学の状況及びその地区に属する大学が実施する支援状況等を踏まえ、かつ被災大学の要請に応じて、更に必要な支援を実施する。

（3）その他の支援

大規模災害等の状況により、上記（1）、（2）による対応が困難な場合には、これに関わらず、支援可能な大学が、被災大学の要請に応じて、必要な支援を実施する。

(支援に要する経費の負担等)

第5条 支援に要した経費の負担等に関し必要な事項は、支援を受けた大学と支援を実施した大学の協議により決定するものとする。

(協定の有効期間)

第6条 本協定の有効期間は、締結した日から起算して1年間とする。ただし、7大学のいずれかから特段の申出がない場合は、有効期間満了の日の翌日から起算して1年間延長するものとする。

(その他)

第7条 この協定の実施に関し必要な事項及び定めのない事項について、これを定める必要がある場合には、7大学協議のうえ解決するものとする。

上記協定の締結を証するため、7大学は次に記名し印を押すものとする。この協定書は7通作成し、7大学で各1通を所持するものとする。

平成25年 4月25日

国立大学法人弘前大学  
学長

佐藤 敬

国立大学法人岩手大学  
学長

藤井 克己

国立大学法人東北大学  
総長

里見 進

国立大学法人宮城教育大学  
学長

見上一 幸

国立大学法人秋田大学  
学長

吉村 昇

国立大学法人山形大学  
学長

結城 章夫

国立大学法人福島大学  
学長

入野 修

平成25年5月8日  
山形大学

## 共同研究により、磁石による放射性セシウム除染の可能性を確認

山形大学と宮崎大学の共同研究チームは、福島第一原子力発電所事故後（2011年4月30日）に、福島県飯舘村で採取した表層から深さ1cm土壌試料を乾燥させた後、**ネオジム磁石**によって吸引される磁性成分とそれ以外の非磁性成分に分離し、それぞれの成分の放射性セシウム（ $^{134}\text{Cs}$  および  $^{137}\text{Cs}$ ）濃度分析を、**宮崎大学のゲルマニウム半導体検出器**を用いて行った。

その結果、わずか20%の重量の磁性成分に60%近い放射性セシウムが集中していることが分かった。

本試料の土壌としての性質を明らかにするため、**山形大学のX線回折装置**による分析を行ったところ、本試料には石英、斜長石、雲母粘土鉱物（黒雲母）、角閃石などが含まれ、この地方に広く分布する花崗岩地質の基盤が風化した土壌であることがうかがえた。磁性成分には、鉄鉱石に由来する成分は観測されなかったが、雲母粘土鉱物、バーミキュライト、角閃石、ギブサイトの割合が高いことが分かった。これらの鉱物のうち、雲母粘土鉱物、バーミキュライト、角閃石は鉄、マグネシウム、マンガンなどの磁性元素を含む場合もあることが知られている。一方、非磁性成分は主に石英、斜長石から構成されていた。

土壌中においてセシウムは1価の陽イオンとして振る舞い、イオン交換によってバーミキュライトなどの層状の粘土鉱物に強く吸着される事が知られている。また、本試料の磁性成分には、雲母粘土鉱物、バーミキュライトなど磁性元素を含むタイプがある粘土鉱物が含まれていた。これらに吸着されたセシウムが粘土鉱物と共に磁石によって分離され、磁性成分の放射能濃度が高くなったと考えられる。

本研究において、放射性セシウムで汚染された表層土壌に対して全体で1/4程度の重量の磁性成分を分離することによって、放射能値を半分以上低減できる可能性が示された。土壌からの完全なセシウムの分離には至らないが、ネオジム磁石で吸引するというきわめて簡単な操作で、放射能を半分ほどに低減できることになり、放射能除染の1つの方法としての可能性が明らかになった。

なお、本研究結果は「**RADIOISOTOPES** 誌（日本アイソトープ協会）」に掲載が決定している。

\* **ネオジム磁石**：最も強力な永久磁石で、安価で入手できる。

### （お問合せ先）

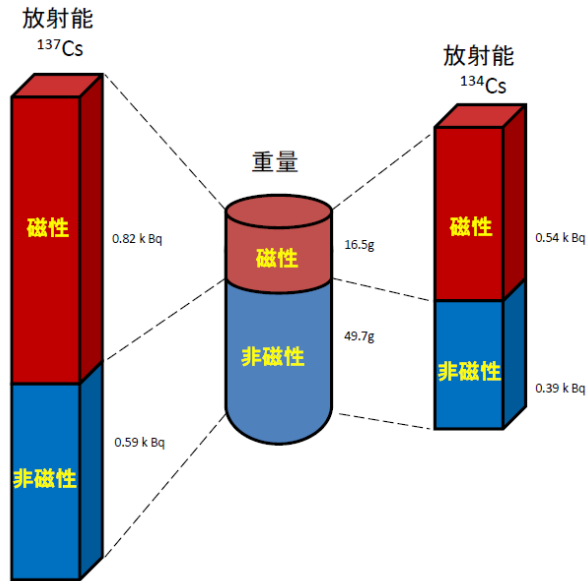
山形大学 理学部物理学科

教授 いわた 岩田 たかひろ 高広 TEL：023-628-4762

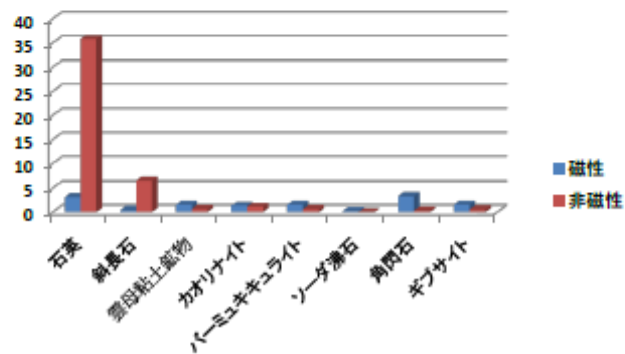
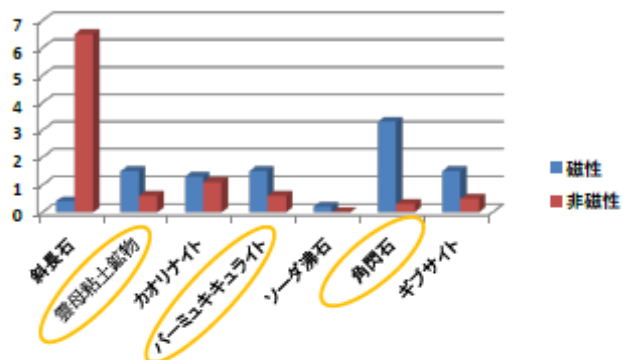
宮崎大学 工学教育研究部

教授 まつだ 松田 たつろう 達郎 TEL：0985-58-7373

参考資料



X線回折による分析結果(観測された鉱物の石英指数)



平成25年5月8日  
山形大学

## 2013年度山形大学都市・地域学研究所事業計画が決定

2013年度の都市・地域学研究所の事業計画が決まりました。  
とりわけ、2010年度以来継続している「山形偉人再発見プロジェクト」は、  
2013年が最上義光没後400年にあたるために、最上義光に注目して、2度  
のシンポジウムを開催します。

- ◆第1回 最上義光没後400年記念 「最上義光シンポジウム」  
《山形市最上義光公没後400年記念協賛事業》

6月23日（日）

- ◆第2回 最上義光没後400年記念 「最上義光シンポジウム」  
《山形市最上義光公没後400年記念協賛事業》

9月14日（土）

- ◆公開講座「山形の魅力再発見パート11」

10月5日・12日・19日（全土曜日）

- ◆第3回安達峰一郎記念世界平和弁論大会（全国の中・高校生各20名の弁論大会）

11月16日（土）

\*山形大学都市・地域学研究所：自主的共同研究の推進を支援し本学の研究活動の活性化を図るために、社会的要請の高い分野などにおいて、学部を横断した自主的共同研究を行う組織、「山形大学バーチャル研究所」の一つとして認定されている。「都市・地域学」に関する総合的かつ学際的研究を行っている。

### （お問合せ先）

山形大学都市・地域学研究所

人文学部人間文化学科・教授 松尾剛次

電話：023-628-4917

Mail: kmatsuo@human.kj.yamagata-u.ac.jp

# 最上義光没後400年記念

第1回

# 最上義光

# シンポジウム

べにばなの城下町・やまがた  
最上義光公  
没後四百年



今年是最上義光没後 400 年にあたります。

そこで、最上義光研究の最新の成果をわかりやすく語り合います。

開催日時：2013年6月23日(日) 13:00～17:00

開催場所：基盤教育院2号館 222教室

入場料：無料(但、資料代100円)



### 講師

片桐 繁雄(上山市立図書館前館長)

松尾 剛次(山形大学都市・地域学研究所所長)

齋藤 仁(山形市教育委員会 社会教育課主査)

最上義光研究最前線(仮題)

最上義光と山形

最上時代の山形城下

宝光院旧蔵文殊像



山形城下絵図



### 問い合わせ先

山形市小白川町 1-4-12

山形大学人文学部松尾研究室

TEL・FAX 023-628-4917

又は山形大学人文学部総務課

TEL 023-628-4203

主催：山形大学都市・地域学研究所



テーマ・概要

日付	時間	氏名	電話(内線)	テーマ	概要
10月5日 山形大学理学部1 号館11番教室	13:00～16:10	松尾 剛次	4917	最上義光が生きた時・空	今年、最上義光(1546-1614)の没後400年に当たります。最上義光に関連した美術作品や古文書を使って、義光の生きた時空にタイムスリップしたいと考えています。タイムマシンの操縦士は都市研所長の松尾が担当します。とりわけ、最上義光が発給した250点もの古文書を読み直します。
10月12日 山形大学理学部1 号館11番教室	13:00～14:30	野堀 嘉裕	2946	化石燃料を森林バイオマスに置き換えた場合のメリット	環境省のGIS植生図から森林部分を取り出し、バイオマス賦存量と毎年の成長量を推定したうえで、林道の敷設状況などを勘案して現実的な利用可能量を試算した。一方、エネルギー単価を化石燃料と比較し、森林バイオマス利用のメリットを検証した。
10月12日 山形大学理学部1 号館11番教室	14:40～16:10	大久保 博	2945	赤川放水路開削を巡る諸関係	大正・昭和にかけて、最上川の支川であった赤川は日本海に繋がる放水路開削と旧川締切により単独の水系となった。洪水常襲地の下流部の人々の永年の悲願が達成された。その経緯と貢献した人々を紹介しながら、赤川治水の変遷を講義する。時代の要請と地域の願いが公共事業の考え方に変化を及ぼすことを知ってもらいたい。
10月19日 山辺町北部公民館	13:00～14:30	山田 浩久	4246	山形城下町の都市計画について考える	日本の多くの都市は、中近世期に作られた城下町を基礎にしています。最上義光はなぜあの場所に城を建てたのでしょうか。本講義では最上義光が考えた山形城下町の都市計画を自然との共生や景観演出の視点から捉え、彼がどのような街を作ったのかを推理します。
10月19日 山辺町北部公民館	14:40～16:10	山根 純佳	4862	原発事故に伴う避難者の受け入れと山形県の支援	山形県は、東日本大震災以後、もつとも多くの避難者を受け入れてきました。なかでも、原発事故に伴う避難者支援は、行政や民間もさまざまな課題や困難に直面しています。本講座では、山形県のこれまでの支援の成果や課題、避難者の生活再建の課題について報告し、福島県の隣県として、東北の一員としてわたしたちに求められていることを考えます。

平成25年5月8日  
山形大学

## 平成25年度新入生保護者の皆さまと山形大学との交流会の開催

山形大学をより身近な存在として感じていただくために、平成25年度新入生の保護者の方々を対象に、山形大学との交流会を開催します。

大学運営の実情や教育・研究内容等をご紹介するとともに、保護者相互、本学教職員との親睦と交流を深めていただくため懇談会も開催します。

### ◆実施概要

日時：平成25年6月29日（土） 13：30～18：00

会場：山形大学小白川キャンパス基盤教育2号館

内容：

- ・学長あいさつ，大学概況説明等
- ・『一年次の基盤教育』について  
渡邊 洋一（基盤教育院長）
- ・授業紹介「実践的キャリア教育学での挑戦」  
エンロールメント・マネジメント部 教授 福島 真司  
新入生有志数名
- ・「産業界が、今、大きな期待を寄せる理学部のものづくり  
—ナノテクノロジー基盤材料技術への貢献—」  
理学部物質生命化学科 教授 栗原 正人
- ・懇談会

※ 希望者には学生による小白川キャンパスツアーを実施します。

（お問合せ先）

エンロールメント・マネジメント部政策課  
（TEL）023-628-4062

# 新入生保護者の皆さまと 山形大学との交流会

ご入学おめでとうございます。

この交流会は、保護者相互、保護者と教職員との親睦・交流を深めるとともに、保護者の皆さまに大学運営の実情や本学の教育研究内容等について、理解を深めていただき、大学をより身近な存在に感じていただきたいとの思いから開催いたします。

保護者の皆さまのご参加をお待ちしております。

## 実施概要

平成25年 **6月29日(土)** 開催時間 **13:30 ~ 18:00**

## スケジュール

13:30 ~ 14:00 学長あいさつ、大学概況説明等

14:00 ~ 16:10 講演Ⅰ「一年次の基盤教育」について (45分)

山形大学基盤教育院長 渡邊 洋一

授業紹介「実践的キャリア教育学での挑戦」(15分)

山形大学エンrollment・マネジメント部 教授 福島 真司

山形大学新入生有志数名が発表します。

休憩 (15分)

講演Ⅱ「産業界が、今、大きな期待を寄せる理学部のものづくりーナノテクノロジー基盤材料技術への貢献ー」(45分)

理学部物質生命化学科教授 栗原正人

※学生有志による大学歌や学生歌の斉唱と花笠踊りのアトラクションがあります。

16:20 ~ 18:00 懇談会 ※懇談会は軽食と飲み物(アルコール類有)の立食形式で行います。

■ 11:30 より学生による、小白川キャンパスを案内する「キャンパスツアー」を行います。

対 象 平成25年度新入生の保護者の方々

申込方法 裏面に記載のとおり、E-mail 又は FAX でお申込み願います。

そ の 他 ① 懇談会は、お一人様1,500円の会費とし、当日受付で徴収させていただきます。  
② 当日は、学生が普段利用する「山大生協食堂」が14:00頃まで営業しておりますので、ご利用ください。

## 会 場

山形大学小白川キャンパス基盤教育2号館2階講義室

## お問い合わせ先

山形大学エンrollment・マネジメント部政策課

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12

TEL:023-628-4063・FAX:023-628-4185

E-mail からの問い合わせは、下記アドレス又はバーコードよりどうぞ  
enrollment@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



# お申込み書

お申込みは、**6月14日(金)**までに、**E-mail**又は**FAX**でお願いいたします。  
 なお、E-mailの場合は、下記の全項目を入力の上、送信願います。

**FAX : 023-628-4185**

**E-mail : enrollment@jm.kj.yamagata-u.ac.jp**

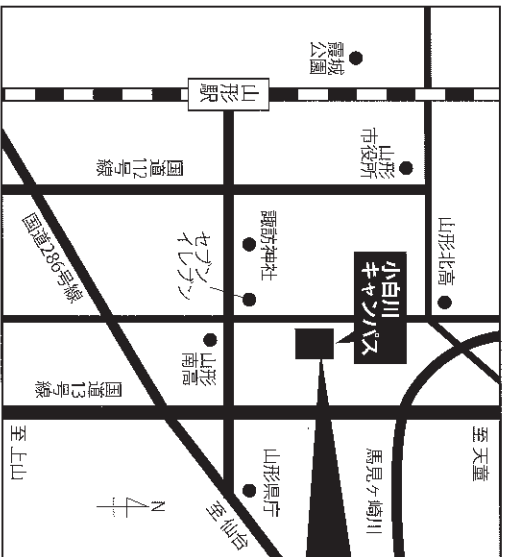
お名前	ふりがな	住所	〒 -
学生氏名 (学部・学科)	( ) 学部 学科・コース	電話番号 (連絡先)	-
同伴者氏名 計( )名	ご参加項目 <input checked="" type="checkbox"/>	6月29日(土)に、山形大学へ お越しいただける方法についてお伺いします。	
	<input type="checkbox"/> キャンパスツアー <input type="checkbox"/> 講演会 <input type="checkbox"/> 懇談会	<input type="checkbox"/> 自動車利用(精内駐車場を利用) ※駐車スペースに限りがありますので、自家用車での ご来場を希望される場合は、 <input type="checkbox"/> 欄にチェック願います。 当日は「臨時駐車許可書」を発行いたします。	
	<input type="checkbox"/> 懇談会	<input type="checkbox"/> 自家用車以外の方法(バス・タクシー・徒歩等)	

※上記情報については、この事業にのみ使用します。

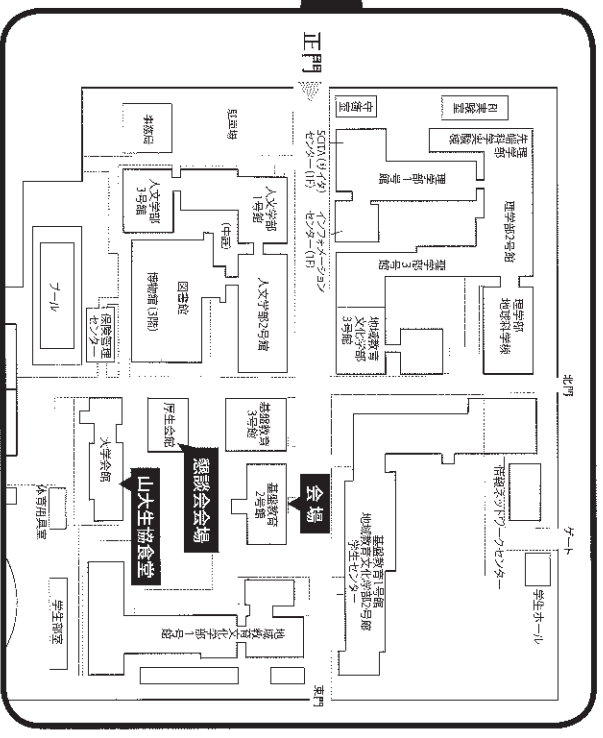
## アクセス

### 山形大学小白川キャンパス

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12  
 TEL:023-628-4063



### 小白川キャンパス建物配置図



- a) JR 山形駅(路線バス) JR 山形駅前停留所(4番乗り場)から「山形県庁行きバスで南高前(山大入口)下車 徒歩7分
- b) JR 仙台駅(高速バス) JR 仙台駅前から「山交ビル/バスターミナル」又は「山形駅前」行き高速バスで、南高前(山大入口)下車 徒歩7分
- c) 自家用車 山形自動車道「山形蔵王IC」から約5km 10分  
 (構内は駐車スペースが限られておりますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。)
- d) 徒歩 JR 山形駅から東方へ約2km 徒歩で約25分

平成25年5月8日  
山形大学

## 大学コンソーシアムやまがた「やまがた夜話」の開催

今年度も、ゆうキャンパス・ステーションで「やまがた夜話」を開催します。「大学コンソーシアムやまがた」では、「もう一つの人づくり」を実現するため、「山形県の人・モノ・地域作り」をテーマに、それぞれの得意分野で活躍している第一人者の方から、皆様へわかりやすいお話しをしていただきます。

### 5 月

テーマ 「草木塔- やまがたと草木塔の歴史-」

- |        |   |
|--------|---|
| 22日(水) | 「草木塔と出羽三山信仰」<br>伊藤 清郎 氏 山形大学地域教育文化学部 教授     |
| 23日(木) | 「草木塔と歴史」<br>岩鼻 通明 氏 山形大学農学部 教授              |
| 29日(水) | 「草木塔と東日本大震災」<br>村松 真 氏 山形大学東北創生研究所 コーディネーター |
| 30日(木) | 「草木塔と民俗」<br>菊地 和博 氏 東北文教大学短期大学部 総合文化学科長     |

### 6 月

テーマ 「いま、ふたたびのおくのほそ道」

- |        |  |
|--------|--|
| 5日(水)  | 「百代の過客 -芭蕉のイメージ戦略-」                                |
| 12日(水) | 「小説・おくのほそ道-曾良随日記が記録した旅の真実-」                        |
| 20日(木) | 「連句は続くよどこまでも-当時の俳諧の実態-」                            |
| 26日(水) | 「おくのほそ道、三百年の旅路-後世・世界への影響-」<br>山本 陽史 氏 山形大学基盤教育院 教授 |

時 間：18：30～19：30

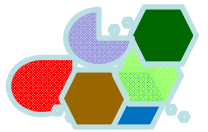
場 所：ゆうキャンパス・ステーション（山形市：山形むらきさわビル1階）

対 象：高校生・学生・一般市民 定員50名（参加費は無料です。）

※大学コンソーシアムやまがた：平成16年4月に設立された、山形県内の大学・短期大学・高等専門学校・放送大学等の高等教育機関と山形県の連合組織。山形県内の高等教育の充実・発展を図るとともに、各大学の知的資源を有効に活用して地域社会に貢献することを目的としている。

#### （お問合せ先）

大学コンソーシアムやまがた事務局  
電話 023-628-4842



# やまがた夜話

テーマ 草木塔 -やまがたと草木塔の歴史-

5月22日(水) 草木塔と歴史

18:30 ~ 19:30 伊藤 清郎 氏 (山形大学地域教育文化学部教授)

5月23日(木) 草木塔と出羽三山信仰

18:30 ~ 19:30 岩鼻 通明 氏 (山形大学農学部教授)

5月29日(水) 草木塔と東日本大震災

18:30 ~ 19:30 村松 真 氏 (山形大学東北創生研究所 コーディネーター)

5月30日(木) 草木塔と民俗

18:30 ~ 19:30 菊地 和博 氏 (東北文教大学短期大学部 総合文化学科長)

**会場** ゆうキャンパス・ステーション  
(山形むらさきさわビル1階)

**アクセス** 山形駅東口より徒歩1分

**対象** 高校生・学生・一般市民  
定員: 50名

**入場無料**

**お申し込み** 電話又はチラシ裏面の参加  
申込書に必要事項を記入の  
上Fax、郵送、メール等でお  
申し込みください。



主催

大学コンソーシアムやまがた

お申込み・お問合せ



大学コンソーシアムやまがた

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらさきさわビル1階

TEL: 023-628-4842 FAX: 023-628-4820

E-mail: unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



FAX:023-628-4820

## 大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

やまがた夜話に参加申込みをします。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。

申込締切日:それぞれの夜話前日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加希望日に☑、又は日付を○で囲んでください。 <input type="checkbox"/> 平成25年5月22日(水) 講師: 伊藤 清郎 氏 <input type="checkbox"/> 平成25年5月23日(木) 講師: 岩鼻 道明 氏 <input type="checkbox"/> 平成25年5月29日(水) 講師: 村松 真 氏 <input type="checkbox"/> 平成25年5月30日(木) 講師: 菊地 和博 氏
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	

受講申込者が多数の場合は、お手数ですが参加申込書をコピーしてご利用ください。

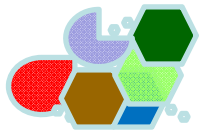
この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

### 【お申込み・お問合せ先】

大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



# やまがた夜話

テーマ **いま、ふたたびのおくのほそ道**

6月 5日 (水) **百代の過客 —芭蕉のイメージ戦略—**  
18:30 ~ 19:30

6月12日 (水) **小説・おくのほそ道—曾良随行日記が記録した旅の真実—**  
18:30 ~ 19:30

**6月20日 (木)** **連句は続くよどこまでも—当時の俳諧の実態—**  
18:30 ~ 19:30

6月26日 (水) **おくのほそ道、三百年の旅路—後世・世界への影響—**  
18:30 ~ 19:30

講師 **山本 陽史 氏** ( 山形大学基盤教育院・教授 )

**\*3回目の6月20日は木曜日の開催ですのでお間違えの無いようにお集まりください。**

**会場** ゆうキャンパス・ステーション  
(山形むらさきさわビル1階)

**アクセス** 山形駅東口より徒歩1分

**対象** 高校生・学生・一般市民  
定員: 50名

**入場無料**

**お申し込み** 電話又はチラシ裏面の参加  
申込書に必要事項を記入の  
上Fax、郵送、メール等でお  
申し込みください。



主催

大学コンソーシアムやまがた

お申込み・お問合せ



大学コンソーシアムやまがた

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらさきさわビル1階

TEL: 023-628-4842 FAX: 023-628-4820

E-mail: unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp





FAX:023-628-4820

## 大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

やまがた夜話に参加申込みをします。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。

申込締切日:それぞれの夜話前日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加希望日に☑、又は日付を○で囲んでください。 <input type="checkbox"/> 平成25年 6月 5日(水) 講師: 山本 陽史 氏 <input type="checkbox"/> 平成25年 6月12日(水) 講師: 山本 陽史 氏 <input type="checkbox"/> 平成25年 6月20日(木) 講師: 山本 陽史 氏 <input type="checkbox"/> 平成25年 6月26日(水) 講師: 山本 陽史 氏
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	

受講申込者が多数の場合は、お手数ですが参加申込書をコピーしてご利用ください。

この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

### 【お申込み・お問合せ先】

#### 大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらさきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成25年5月8日  
山形大学

## 1. 益川敏英氏(2008年ノーベル物理学賞受賞)を講師に迎え、理学部講演会を開催

山形大学理学部では、学生や教職員を対象に、各自の知識を深めていただくことを目的に、各専門分野における第一人者を招へいして、一年に20回程度、講演会を開催しています。

今回は、講師に2008年にノーベル物理学賞を受賞された益川敏英氏をお招きしますので、地域の皆様にも開放して、次のとおり理学部講演会を開催します。

日時：5月31日（金）16時30分～18時00分（開場16時10分）

場所：山形大学小白川キャンパス 基盤教育2号館221教室

内容：「科学を志す若い人へ」※学生グループとの対談形式

対象者：学生対象ですが、一般の方も参加可能です。

参加費：無料

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

## 2. 有機エレクトロニクスイノベーションセンター内覧会を開催

今年4月に開所した「山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター」の内覧会を開催します。この内覧会は、関係自治体、関係団体、参加企業、報道機関、その他関係者を対象としたもので、一般の方を対象とするものではありません。

日時：6月6日（木）

**第一部（13時00分～14時30分）**

・・・対象：関係自治体、関係団体、報道機関

**第二部（15時00分～16時30分）**

・・・対象：参加企業、その他関係者

会場：〒992-0119 米沢市アルカディア1丁目808番48

山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター 会議室ほか

内容：学部長挨拶、センター概要説明、有機デバイスコンソーシアム形成事業説明、施設見学

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

### 3. 非常時のための加温機能を備えた保存食「ほっこり食」の販売

山形大学地域教育文化学部食環境デザインコースと、気仙沼ほてい株式会社を中心となって開発した、「非常時のための加温機能を備えた保存食「ほっこり食」」を、限定100食販売します。

食べてもらった後にアンケート調査に答えていただき、今後の本格的販売へ向けて、参考にさせていただきます。

販売場所：山形大学生協（山形市小白川店のみ）

販売開始：5月13日（月）

販売値段：500円（税込み）

※限定100個の販売のため、売り切れた時点で終了！

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

### 4. 人文学部公開講座「19世紀 西洋思想の宝石箱」の開催

平成25年度人文学部公開講座は、「19世紀 西洋思想の宝石箱」～ニーチェからコナン・ドイル、フェノロサまで～というテーマで開催します。

5人の講師が、19世紀西洋における思想的営為や文化芸術に、思想・文学・芸術・科学など様々な分野から光を当てて講演を行います。

日 時：6月6日、10日、13日、17日、20日（月・木 計5回）  
18：30～20：10

場 所：山形大学人文学部1階 104教室

対 象 者：一般市民・大学生・高校生 30名

受 講 料：2,000円(大学生・高校生は無料)

募集期間：5月7日(火)～6月3日(月)

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

# 山形大学

## 理学部講演会

講演者：

益川 敏英 氏

名古屋大学素粒子宇宙起源研究機構、機構長

京都産業大学、教授

2008年ノーベル物理学賞受賞者



2013年5月31日（金）

16:30-18:00 （開場 16:10）

山形大学小白川キャンパス 基盤教育2号館 221教室

講演内容：科学を志す若い人へ

形式：学生グループとの対談形式

学生対象ですが、一般の方でも御参加いただけます

問い合わせ先：理学部物理学科 岩田高広

Tel: 023-628-4762

Email: [tiwata@sci.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:tiwata@sci.kj.yamagata-u.ac.jp)

## 山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター内覧会について

日 時：平成25年6月6日（木）13時00分から16時30分

会 場：〒992-0119 米沢市アルカディア1丁目808番48  
山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター会議室ほか

対 象：関係自治体，関係団体，参加企業，報道機関，その他関係者

日 程：

◎第一部（13時00分～14時30分）

対象：関係自治体，関係団体，報道機関

1. 学部長挨拶
2. 本センター概要説明
3. 有機デバイスコンソーシアム形成事業説明
4. 施設見学

◎第二部（15時00分～16時30分）

対象：参加企業，その他関係者

1. 学部長挨拶
2. 本センター概要説明
3. 有機デバイスコンソーシアム形成事業説明
4. 施設見学

----- お問い合わせ先 -----

有機エレクトロニクスイノベーションセンター事務室

〒992-0119 山形県米沢市アルカディア1丁目808番48

TEL : 0238-29-0566 FAX : 0238-29-0567

-----

— 地域に根ざし、世界を日指す —



平成25年4月開所

# 夢からビジネスへ

— 先端技術の実証研究拠点 —

**INOEL**  
Innovation Center for Organic Electronics

山形大学  
有機エレクトロニクスイノベーションセンター  
Innovation Center for Organic Electronics



経済産業省／先端技術実証・評価設備整備費等補助金（「技術の橋渡し拠点」整備事業）  
文部科学省／地域イノベーション戦略支援プログラム（国際競争力強化地域）  
山形県／山形県産業技術振興機構／米沢市

# 山形から世界へ

— 新たな価値の創造 —

「有機エレクトロニクス」で世界をリードする実証モデル拠点  
山形大学有機エレクトロニクス研究センター (ROEL) との一体運営  
地域経済再生、東日本大震災からの復興に貢献

「拠点」機能・「技術の橋渡し」機能

このようなご要望にお応えします。

- 次の事業の種を見つきたい
- 次世代技術開発を大学の協力を得て進めたい
- 機器利用、人材育成など、大学の設備や知を活用したい



一つ屋根の下で連携しイノベーションを創出

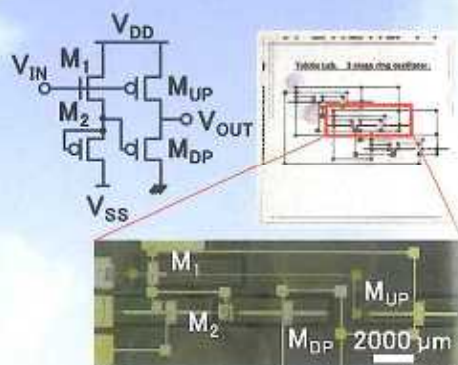
公的機関 ↔ 山形大学 ↔ 連携企業

技術が生み出す新たな価値

有機EL

新しい光を  
創造します

有機エレクトロニクス



電気を光に変える 有機EL

ディスプレイ・照明分野において商品化が始まっている「有機EL」の更なる普及に向け、「高発光効率」「塗布プロセス」「フレキシブル」に取り組みます。私達は、これらの次世代有機ELに求められている研究課題を有機エレクトロニクス研究センター 城戸洋二研究室と連携し、「高付加価値」かつ「安価」で「環境に優しい」有機ELのイノベーションを目指します。

組織構成

〈基礎・先端〉

山形大学  
有機エレクトロニクス研究センター  
(ROEL)

センター長

基礎・先端研究 新分野創出 教育  
卓越研究教授  
スタッフ 有機EL部門  
研究部門 有機太陽電池部門  
有機トランジスタ部門  
プロジェクト部門 電圧シミュレーションラボ

〈応用・実証〉

山形大学  
有機エレクトロニクスイノベーションセンター  
(INOEL)  
山形県産業技術開発機構  
産学官連携有機エレクトロニクス事業化推進センター

センター長

技術開発 ビジネスクリエイト 人材育成  
有機EL部門 イノベーター  
有機太陽電池部門 コーディネーター  
有機トランジスタ部門 スタッフ  
電圧デバイス部門

連携企業  
共同研究員

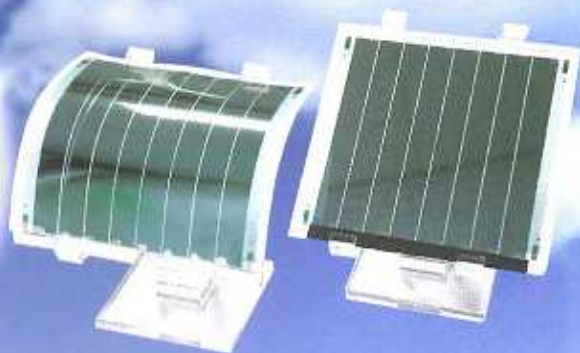
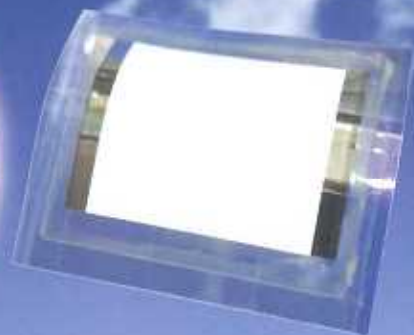
連携機関

イノベーションを可能に

フレクソ・グラビアオフセット印刷装置  
精密スリットダイコーター  
自動現像・エッチング装置  
露光機  
自動基板洗浄機  
真空貼り合わせ装置  
グローブボックス  
フレキシブルディスプレイ駆動評価装置  
段差計、FT-IR、各種特性評価装置  
真空成膜装置 (蒸着・スパッタ)

有機太陽電池

薄く、軽く、  
透明な太陽電池を  
実現します



# レキシブル + プリントブル

エレクトロニクスで「創エネ」「省エネ」「蓄エネ」を実現しませんか？

有機トランジスタ

新しい電子回路を  
実現します



2013年秋 完工  
蓄電デバイス開発研究センター

蓄電デバイス

化学の力で  
電池を変えます

電気を制御する 有機トランジスタ

有機トランジスタは、低コスト印刷法で作製可能な次世代のトランジスタとして注目されています。有機エレクトロニクス研究センターの寿村・熊木・福田研究室と連携し、有機トランジスタの高性能化・集積化の応用展開を図ります。また、プラスチックを基板とする“柔らかい”有機ELディスプレイやタグ作製の基礎技術を構築し、次世代エレクトロニクスに向けてのイノベーションを目指します。



光を電気に変える 有機太陽電池

有機化合物を発電層に使用し、塗布法などの方法で、プラスチック基板上に形成可能な有機太陽電池は、次世代の太陽電池として期待されています。室内光などの比較的弱い光にも反応すること、透明性を持たせられることも特徴です。材料・構造・プロセス技術の開発により、超軽量・薄型、フレキシブル、半透明など、新たな価値を有した太陽電池を実現し、応用開発及び実用化を目指します。



電気を蓄える 蓄電デバイス

蓄電デバイスは確実な社会実装を目指すグループです。材料開発は主要4部材だけでなく、バインダーや導電性炭素などの副資材にも及びます。更に材料融合技術で新しい機能発現の開発もテーマです。当部門は市場解析機能を持ち、開発テーマは戦略企画室が市場目標で絞り込みます。それをパイロットスケールで検証し、生産プロセス開発まで行うのが特徴です。今後は安全性技術開発や用途別評価技術まで拡充し材料開発拠点を目指します。



する主な最先端設備・機器



インクジェット装置



スクリーン印刷装置



クラスター型蒸着装置



光学式薄膜特性評価装置



レーザーラマン装置



# 山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンターが目指す機能

## 先端技術の開発・共同研究開発拠点としての機能

スーパーイノベーター  
をハブとした  
開発・実証研究

有機エレクトロニクス  
研究センターとの連携  
による最先端科学技術

先端機器の利活用推進  
“機器共有ネットワーク”

知のネットワーク構築  
“イノベーション  
ネットワーク”

標準化・知的財産構築  
等の活動

## 人材育成プログラム

### 高度人材 (REMT) 育成プログラム

**Researcher**  
先端研究開発人材

主な対象者 社会人・大学院生  
育成する人材 有機エレクトロニクス  
先端研究を推進する研究者

**Engineer**  
高度開発技術人材

主な対象者 企業技術者  
育成する人材 有機エレクトロニクス先端  
技術開発を推進する技術者

**Management**  
技術経営人材

主な対象者 企業経営者・金融・支援機関  
育成する人材 有機エレクトロニクス技術動向  
に通じ、産業化推進する経営者

**Technician**  
高度基盤技術人材

主な対象者 企業の作業者  
育成する人材 有機エレクトロニクス研究開発を  
支援、生産を担うテクニシャン

## 山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター施設概要

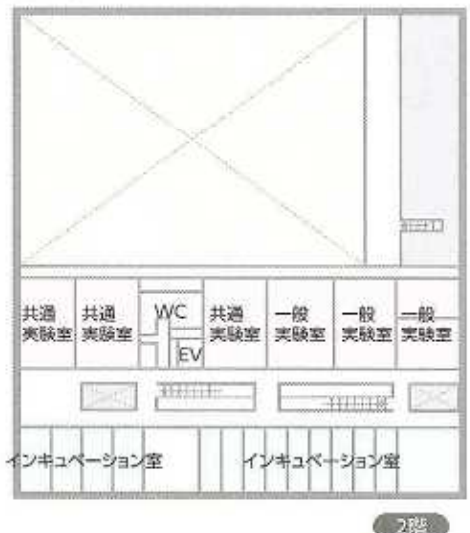
経済産業省 先端技術実証・評価設備整備費等補助金（「技術の橋渡し拠点」整備事業）

文部科学省 地域イノベーション戦略支援プログラム（国際競争力強化地域）

先進性、コミュニケーション場、  
安全・快適な研究環境

- 総面積/4,260㎡、2階建て
- フリールーム/1,200㎡
- 一般・共通実験室
- オフィス
- 有機ELデバイス等評価用  
レンタル暗室スペース
- インキュベーション室
- 会議室
- 展示スペース

施設内にはインキュベーション室（企業派遣者が常駐できるレンタルオフィス）を設置し、企業からの要望に応え、製品の实用化に繋がる研究を効果的に進められるよう支援します。



## アクセス



お問合せ

平成25年4月開所

**山形大学**  
**有機エレクトロニクスイノベーションセンター**  
〒992-0119 山形県米沢市アルカディア 1丁目808番48

【連絡先】

山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター事務局  
TEL/0238-29-0566 FAX/0238-29-0567  
URL/http://inoel.yz.yamagata-u.ac.jp/

平成25年5月8日  
山形大学

## 非常時のための加温機能を備えた保存食「ほっこり食」の販売

山形大学地域教育文化学部食環境デザインコースと、気仙沼ほてい株式会社が中心となって開発した、「非常時のための加温機能を備えた保存食「ほっこり食」」を販売します。

販売場所：山形大学生協(山形市小白川店)

販売開始：5月13日(月)

販売値段：500円(税込み)

**限定100個の販売のため、売り切れた時点で終了!**

※食べてもらった後にアンケート調査に答えていただき、今後の本格的販売へ向けて、参考にさせていただきます。



### ◆開発経緯

東日本大震災直後の避難所生活では、水分や栄養素の摂取不足および栄養バランスの乱れ、などが原因で体調を崩しがちでした。もし、水分や栄養バランスもよく、血流改善などの機能性を持った温かい食事が避難所で提供されていれば、これらのリスクは大きく軽減できたと考えられます。そこで、今年2月20日に発表したとおり、山形大学地域教育文化学部食環境デザインコースと気仙沼ほてい株式会社が中心となり、双日プラネット株式会社および東洋製罐株式会社と合同で、1) 栄養バランスを確保しつつ、2) 糸を引けば自動的に温まる機能を有する、レトルト保存食「ほっこり食」を開発しました。

### ◆概要

開発した保存食は、トマト味をベースに、1パック250gで成人男性の1食あたりの必要3大栄養素の約1/3をバランスよく補給できるようになっています。また、食事は避難時の楽しみであることを考え、機能や美味しさにも充分配慮しました。食材には代謝向上性が期待できるポリフェノールや必須脂肪酸(α-リノレン酸)を多く含むエゴマ油を使用したり、ビタミンや食物繊維の補給のためにつや姫の玄米を使用しました。さらに、駅弁等で使用されている加温システムを最適化することで、水素ガスの発生なしで6分以内に約60℃まで食事を温めることができ、調理施設などがない避難先(体育館など)でも温かい食事の提供が可能になります。

### ◆今後の予定

日本各地で地震が発生している今日、災害時への備えは大変重要であると考えられます。食べたあとは、アンケートに答えていただき、今後の本格的な販売への参考にさせていただき、避難時の一助にしたいと、プロジェクトチームは期待しています。

(お問合せ先)

地域教育文化学部食環境デザインコース  
小酒井貴晴(電話 628-4354)

# 19世紀

平成25年度  
山形大学公開講座 [人文学部]

## 西洋思想文化の宝石箱

～ニーチェからコナン・ドイル、フェノロサまで～



6.6<sup>木</sup>

19世紀英国における詩と社会  
～アルフレッド・テニソンの詩を中心に～

人文学部 教授 佐藤 清人

6.10<sup>月</sup>

フリードリヒ・ニーチェ  
～哲学的思考における徹底性の一つのかたち～

人文学部 准教授 千葉 清史

6.13<sup>木</sup>

コナン・ドイルという謎を解く

人文学部 教授 中村 隆

6.17<sup>月</sup>

博覧の医師テーアとシーボルト  
～ファウストの後継者たち～

人文学部 教授 山崎 彰

6.20<sup>木</sup>

ビゲローとフェノロサ  
～19世紀アメリカン・オリエンタリズムの諸相～

人文学部 准教授 伊藤 豊

日 時：平成25年6月6日(木)～6月20日(木)  
午後6時30分～8時10分 [月・木計5回]

場 所：山形大学人文学部1階 104教室

対 象：一般市民・大学生・高校生 定員30名

受 講 料：一般 2,000円  
大学生・高校生は無料

募集期間：平成25年5月7日(火)～6月3日(月)

〈お問い合わせ先〉

山形大学人文学部事務室

電話：023-628-4203

E-mail: jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

# 19世紀

## 西洋思想文化の宝石箱

平成25年度  
山形大学公開講座【人文学部】

～ニーチェからコナン・ドイル、フェノロサまで～

### 講座の概要

私たちは、いまグローバルゼーションの広汎な展開とアジア経済の急成長のただ中にいます。現在、アジア地域が抱えるさまざまな問題は、かつて西洋が直面した問題群の地球的規模への拡散と捉えることもできます。

一足先に近代社会を確立させた19世紀西洋における思想的営為や文化芸術には、あらためて学びかつ味わうべき価値が見出せます。今年度の夏の講座では、これらの宝物を思想、文学、芸術、科学などさまざまな分野から光を当てて、説き明かします。

第1回

6.6<sup>木</sup>

### 19世紀英国における詩と社会

～アルフレッド・テニスの詩を中心に～

人文学部 教授 佐藤 清人



市民革命や産業革命を経て社会は発展し、歴史は近代を迎えます。一方、それと逆行するかのよう、文学の世界では、近代になると、詩というジャンルが衰退の兆しを見せ始めます。19世紀の英国において、こうした社会と詩との対立はしばしば当時の思想家や批評家によって論じられました。この講義では、19世紀の英国詩人アルフレッド・テニスの詩を中心に、こうした対立が当時どのように捉えられていたのか概観してみたいと思います。

第2回

6.10<sup>日</sup>

### フリードリヒ・ニーチェ ～哲学的思考における徹底性のかたち～

人文学部 准教授 千葉 清史



何ごとも“徹底的に”考え抜くことが哲学の特性だ、と言われます。ただ、“徹底性”の追及にもさまざまな形態があります。19世紀ドイツの哲学者フリードリヒ・ニーチェの哲学の魅力の一つは、それが、哲学的思考の徹底性の、一つの独特なありかたを提示したことにあります。本講義はニーチェの哲学を、特にこの点に焦点をあてて紹介していきます。ニーチェの思索の過程を体験することを通じて、哲学的思考のダイナミズムを体験していただきたいと思っています。

第3回

6.13<sup>木</sup>

### コナン・ドイルという謎を解く

人文学部 教授 中村 隆



ポーの「モルグ街の殺人」（1841年）に選れること約半世紀、ヴィクトリア朝大英帝国の末葉にシャーロック・ホームズが登場します。この講義では、ホームズ物語の処女作である『緋色の研究』（1887年）に焦点をあて、以下のようなことを考えてみます。①探偵小説とはそもそも何か？②探偵小説はなぜ19世紀に流行したのか？③ドイルのオカルト趣味④ドイルにおけるアメリカという表象

コナン・ドイルをめぐることのような謎解きの旅にご参加いただければ幸いです。

*Ernest Fenollosa, Alfred Fenynson  
Conan Doyle, Siebold, Friedrich Nietzsche*

**第4回**

**6.17**

**博覧の医師テアとシーボルト**  
～ファウストの後継者たち～



山崎 彰  
人文学部 教授

ファウストは医師にして多くの学問を修めますが、最後には庭園を建設し、開拓事業を行ったとされています。ちようどゲーテがこの著作に取り組んでいた頃、ドイツには博物学や農学の分野で優れた成果をおさめた医師が少なくありませんでした。日本の医学と植物学に大きな功績のあったシーボルトと、近代農学の祖であり有機農法の創始者として知られるテアをとりあげ、彼らに共通する学問と思想の特徴を考えてみます。

**第5回**

**6.20**

**ビゲローとフェノロサ**  
～19世紀アメリカン・オリエンタリズムの諸相～



伊藤 豊  
人文学部 准教授

アーネスト・F・フェノロサは、明治期の日本美術復興運動との関連で、歴史にいちおう名を残した人物ですが、一方でウィリアム・S・ビゲローは、いまや一部の専門家の間を除いて、ほぼ忘れ去られた存在となつています。と言うか、そもそも「アメリカン・オリエンタリズムって何?」というのが、大方の皆さんの疑問でしょうし、今回の講義ではその辺からゆるゆると語り始めて、ビゲローとフェノロサの思想的な事績を紹介してみたいと思います。

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

02	払込取扱票										通常払込料金 加入者負担							
口座番号											千	百	十	万	千	百	十	円
0	2	2	6	0	7	9	2	4	7	8	2	0	0	0	0	0	0	
加入者名	国立大学法人山形大学										料	金	備考					
通信欄	※「19世紀西洋思想文化の宝石箱 - ニーチェからコナン・ドイル、フェノロサまで」申込書 ※この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。(人文学部) <input type="checkbox"/> 職業をお書きください。( ) <input type="checkbox"/> 年齢をお書きください。( ) <input type="checkbox"/> 今後の連絡の便宜のためにEメールアドレスをお持ちの方はご記入ください。( ) ※個人情報利用について、提出いただいた書籍の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・提供・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナー棟のご案内を本学からお送りする場合がございます。□承諾しない □承諾しない (いずれかをチェック願います)																	
おとこ (郵便番号)	)																	
※ おなまえ	依頼人																	
(電話番号)											口	附	印					

切り取らないでお出してください。

振替払込請求書兼受領証

口座番号	0	2	2	6	0	7	9	2	4	7	8				
加入者名	国立大学法人山形大学														
金額	千	百	十	万	千	百	十	円	2			0	0	0	
おなまえ	依頼人											様			
※												口	附	印	
												料	金	備	考

記載事項を訂正した場合は、その箇所には訂正印を押してください。

ここから切り離してお出ください。

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号仙第992号)

これより下部には何も記入しないでください。



募集人員 一般市民・大学生・高校生 30名

募集期間 平成25年5月7日(火)～6月3日(月)

受講料 2,000円(大学生・高校生は無料)

お申し込み方法 下の「払込取扱票」に記入の上、受講料の振り込み手続きをしてください。

通信欄には、職業、年齢を記入してください。

先着順に受け付け、受講票をお送りします。

なお、大学生・高校生は、メールあるいは電話で、住所、氏名、電話番号、年齢

下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

お問い合わせ先

〒990-8560

山形市小白川町1-4-12 山形大学人文学部事務室

TEL : 023-628-4203

E-mail : jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

会場案内

山形大学人文学部1階 104教室

大学正門を入れて正面の建物です。

受付は人文学部正面玄関にて行います。

その他

【公共交通機関ご利用のお願い】

現在、山形大学小白川キャンパスでは、駐車場が非常に手狭になっております。

公開講座当日はできるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。

この受領証は、郵便局で機械  
処理をした場合は郵便振替の払  
込みの証拠となるものですから  
大切に保存してください。

ご注意

この払込書は、機械で処理し  
ますので、本票を汚したり、折  
り曲げたりしないでください。

この場所には、何も記載しないでください。